



今日 日一十月五年九和 第一九百九十一號

座講識常 アドヴァイスは單略してアドハイスとも云ふ忠告の意だ、アドバンスと云へば立替金又は進歩の意にもなりアドバンテージと云ふなら利益の事或は其の甲斐ある「刻」の意にもなる

今年地方春繭相場 二十五掛は困難か

四倉市場の取引開始は 蠶況から四五日遅れらし

石城販賣利用組合経営の四倉繭市場は六月十五日から開市の豫定をとつてゐるが目下の蠶況では一、二日遅れての取引開始かと云はれてゐる繭價の見込みは標準相場となる沼津の初取引に活氣立たず二十八、九兩日の同市場に於ける二十二掛乃至二十四掛は丁度大正六年頃の相場(當時の糸

田人村の一小部落 大降ヒヨウで蠶全滅

字下石の殆ど全桑園十数町歩 コンニヤク栽培で僅かな慰め

石城郡田人村の山地部落字下石に於て去る中旬平町地方に暴風雨の中に僅少の雹を見たる當日同地のみが大降雹に通過されて桑樹の新梢を甚だしく傷められた爲め部落内の殆んど全桑園十数町歩に再芽の見込みなく本年の春蠶を全滅

石城地方の春蠶況 順調で桑葉は過剰

只軟葉のためにキヨ弱の嫌ひ 充實葉を與へて健康に

石城地方の春蠶は繭價の安値に悲觀はしてゐるが蠶況は

乾燥から貯蔵まで 生繭が獨りて動く

片倉製絲に増設された乾燥機 工費二萬圓の大和自動式

平町の片倉製絲が工費二萬圓を投じて増設中の大和自動式三十四年型乾燥機は去月中旬以來工を進めてゐるが漸く機械の取付を終り目下周囲の装置淺野スーットの外壁を張つてゐるので来月五日頃竣工を告げ今春繭からの乾燥に大刷新を見る譯であるが同機による乾燥量は一晝夜に於

胡魔化した賣ため金 八十圓懐中の小僧

洋服にトランクのお召替へて 今朝上京する所を逮捕

田村郡三春町の荒町三男高橋三郎(五)は十五歳の時ちよい〜くすねてゐることら平町四丁目洋品問屋鶴屋商店の小僧になつたが一昨秋

四、五日前解雇され東京へ行き就職口を見つづける下心で同店を出る際かねて胡魔化して置いた現金八十圓を窃かに懐中し昨二十九日湯本町に至り飲食店で約三圓を遊興した後同町仙仙洋品店方から洋服及びトランクを求め立派にお

叔父から甥を告訴 油断ならぬ牛馬商

時價九十圓の馬に二十圓の馬 だまされて眞赤になる

石城郡飯野村の字鹽田四一牛馬商内田末吉(三)及び同村南白土字岡の内牛馬商加藤鶴吉(四)の兩名は共謀して末吉の叔父に當る同村上高久字小原三三農務木廣吉(五)が時價九十圓の牝馬を適當な馬匹と交換してもよい意志あるを見て取り去る二十五日末吉の所有する時價二十圓位の牝馬(八)を良馬であると偽り廣吉から現金五圓をつかせて交換せしめたが二日経て廣吉が朝の末吉から受取つた馬に玄米二俵をつけて八町ばかりの道を歩かせたところ前後四回も倒れる脚の悪い馬と判り初めに詐欺にかつた事に氣づき叔父から甥を相手取つて今三十日平署に告訴した

三浦中尉は 今日退院

海軍病院に移る 石城郡江名町の永崎海岸に墜落負傷した海軍飛行將校島田中尉並に三浦特務中尉共に平町南町上田病院で治療中であるが何れも経過よく重傷の島田中尉は尚ほ安静を要するも向後二週間後には海軍病院に移し得るらしく若干軽傷であつた三浦中尉は入院後一週間目の今三十日朝静かな歩行で平署から同町在郷軍陸海將校等に見送られて横須賀海軍病院に移つた三浦氏の打撲傷は頭部並に腰部及び左腕腹で約三週間の病院療養後温泉で静養すれば元の健康体に戻る

航空隊指令の 禮廻り

海軍航空隊指令大西次郎少將は江名町海岸に墜落した飛行機及び負傷者の處置に對し地元を擧げて誠意を盡されたものに謝意を表すべく昨二十九日午後四時上り列車で來平江名町永崎海岸の墜落現場を視察した後同町役場を初め負傷將校を一時收容した個人關係の世話に對して禮を述べたへで平町に於ては町役場及び各團體代表者各戸を訪問謝意を表して同日午後七時半平署警務課で福島縣廳に向ひ同じ關係者に禮を述べた

河から拾つた銅線 無届で賣る

石城郡平窪村の小平窪字小館二八農務妻昇三(三)は本年一月下旬頃好間村の中好間地内好間川附近で「いたち」捕獲器を据らる場所を捜すため河中に入ると足の先に觸れた十番銅線一貫六百目を其筋に届出でず自宅に持歸つて本月十八日午前十一時頃平町の古物商菊地權右工門に二圓で賣却したこと發覺し漂流物の横領で送局された

カフエー桃の井 で只飲み

茨城縣茨城郡磯原町字堀割生れ當時住所不定無職鈴木捨次郎(三)は昨二十九日午後九時頃平町町カフエー桃の井方で所持金あるが如く装ひ一圓五十錢分を無銭飲食して平署に檢舉された

平 館 卅一日より

◎日活作品『桃色の娘』 監督：八田正之 主演：山本禮三郎 高津慶子
◎日活作品『子供パンサー』 主演：杉狂児 關敏雄
◎日活特作『血戰大根風』 監督：荒井 主演：澤村國太郎 澤田清 花井蘭子

農業組合

農務省社會局 (10) 亦地方聯合會のこと
地方聯合會は郡單位のものに道府縣を區域とするものに次第に合併され、その数が減少してゐることは先に述べた通りだ、昭和六年末の地方聯合會百六十中、道府縣を單位とするもの六、府縣を區域とするもの一〇〇、郡を單位とするもの一七、郡を區域とするもの三七である、これも亦地方聯合會に於ては、信まひなく事業別にすれば、信用組合聯合會は五七、その所屬組合は一一五、所屬組合は八、六二七、購買組合は八、三一九、利用組合聯合會は二二、その所屬組合は二、〇である、この中には全國に於ては別に職業上の拘束はないのである、商業者だらうが工業者だらうがまはらない、貯金をしたり、資金の融通を受けなければ信用組合に入れないし、自分等の生産したものを共同で販賣したければ販賣組合を結成すれば宜しいのである、購買組合に於ても利用組合に於てもこの理窟に

